

信州大学農学部  
2007. 5. 30.

信州大学農学部では、創立60周年記念事業の中心事業として建設していた「食と緑の科学資料館」が完成し、5月26日（土）に開館記念式典を盛大に行いました。

当日は自治体関係者や農学部同窓会員、各種団体や企業、元・現教職員など約200人が出席し、テープカットや公募した愛称「ゆりの木」の披露を行い、記念式典では、小宮山学長及び農学部長のあいさつと堀内農学部同窓会長、小坂伊那市長から祝辞をいただきました。

その後、エコ・ネットワーク代表小川 巖氏（昭和44年3月信州大学農学部林学科卒業）から「エコ・ネットワーク15年の軌跡」題した記念講演会が行われました。「食と緑の科学資料館」は平屋建て延べ約600平米、展示室4室には農学部で収集された動植物の標本や写真の展示、研修会や自然教室のための研修室、サロン、また農場で生産された農産物の販売所も設けられています。

開館時間は当面、平日の午前10時から午後4時で、どなたでも無料で入館できます。皆様、ぜひご来館下さい。



写真：食と緑の科学資料館「ゆりの木」



写真：テープカットする小宮山学長、伊那市長等の皆様



写真：愛称を披露する唐澤農学部長



写真：記念式典で挨拶する小宮山学長